

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 8 - 9

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		新規就農者支援事業				
評価者	担当課名	産業振興課		担当係名		農務係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	石井弘道		氏名	苫米地幸二
事業の概要	農業後継者不足による離農者等の跡地等に新規就農者を誘致し支援を行うことで、酪農業の更なる振興を図る。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計 千円	
実施方法	直営	民間委託		その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業	優先度	C
事業の位置付け	政策目標	1 はつらつ・雄武 ~ 地域産業の振興 ~				
	基本施策	1 農業の振興				
	単位施策	2 担い手(人・組織)の強化				
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等	雄武町新規就農者誘致に関する特別措置条例				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額(一般財源)	千円	千円	千円	千円	千円
	合計	千円	千円	千円	千円	千円

112

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	新規就農者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	新規就農者の確保	新規就農者の誘致			
		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	新規就農者の確保誘致	新規就農者	目標年度	平成22年度	
			目標値	1 戸	
			実績値	0 戸	
			達成度	0.0 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	担い手の確保や耕作放棄地の解消		目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
町ホームページへの掲載	町のホームページに新規就農支援対策について掲載し、新規就農者の誘致を行っている。				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	後継者不足等による離農跡地に新規就農者を就農させることにより、農地の荒廃や耕作放棄地を防止するとともに、酪農業の活性化が図られる。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

課題あり 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	資金援助制度はあるが、新規就農に必要な施設及び農地等の確保がされている状況になく新規就農は困難な状況にある。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	新規就農者がいなかったことから、資金等の発生はない。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	実績はなかったが、該当する新規就農者の応分の負担があり、条例に基づく助成であることから公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
C	C	
新規就農に必要な施設や農地の情報等、関係機関との更なる連携が必要である。	同左	

今後の展開方向
(Action)

継続 / 内容の見直し・変更	継続 / 内容の見直し・変更	
新規就農者情報や新規就農に必要な施設、農地の確保など、関係機関との連携を高め、新規就農できる環境づくりの検討を行う必要がある。	同左	

* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--